



ジェネックス今月のトピックス♪



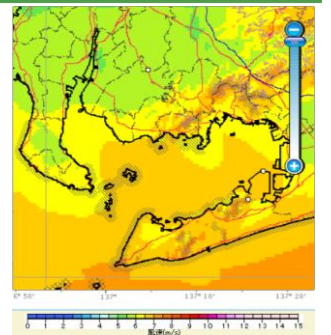
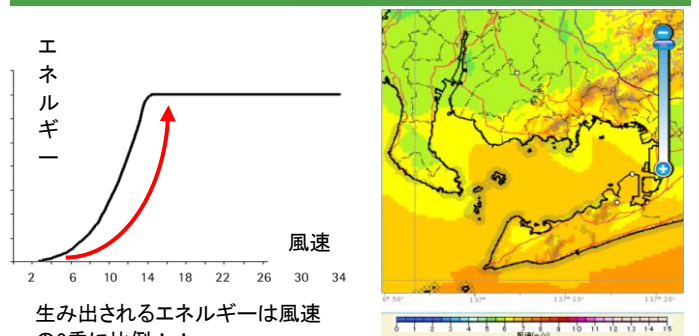
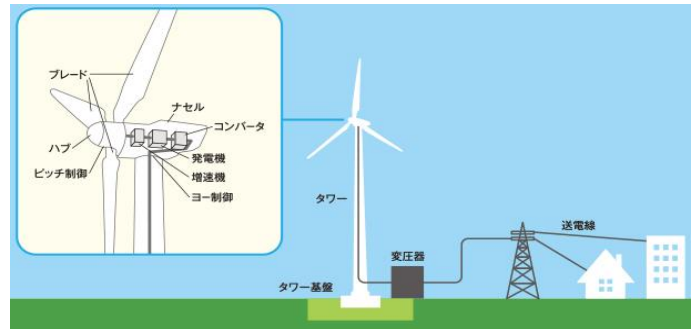
風力発電のご紹介

風力発電は、風の力を活用して発電機を回すことで、電気を作ります。作られる電気は、風車のブレードの面積と風の強さによって変わります。風力発電のすごいところは、風車が作り出すエネルギーは風速の3乗に比例するところです。例えば、風速が2倍になると、発電量は $2 \times 2 \times 2 = 8$ 倍になるんです！！そのため、風力発電の建設は、風の強いところでないと成り立ちません。

私たちの住んでいるところって、風が強いのかな・・・そう思ったとき、簡単に調べる方法があります。それは、NEDOでデータ提供している「局所風況マップ」です。風の強さを色で表現しているため、風況の良いエリアを一目で見ることができます。愛知県内の風の強さを見てみると、特に、東三河や奥三河地域が風況が良さそうですね。ジェネックスで調べたところ、下記の所が風が強くなる傾向があるようです。

- ・概要に面した海岸沿い
- ・吹きおろしがある山の麓
- ・山の山頂など標高の高い場所

もし、上記の土地をお持ちでしたら、ぜひジェネックスへご紹介ください！！



愛知県内の風況マップです

風の強さがわかる機械登場！！

風は吹いているけど、本当に強い風が吹いているのかな？それを調査するのが「風況観測」です。風の強さや向きを機械を使って調査します。以前が、ポールと呼ばれるものを使って高さ50メートルくらいの位置で図ることが主流でしたが、今はレーザを使って観測する機械も出てきました！！

ジェネックスも、レーザで計測する風況観測器を保有し、日々の風の強さを調査しています。

ポール式は、とにかく高い位置に風況を測定する機械を設置しなければならないため、大変です。しかし、レーザ式は置くだけ！！しかも、10メートル間隔で風の強さを測定できるため、調査が容易に行えます。

目に見えない風の強さがわかる！！これが風力発電の成功のかぎになります。



観測したい地点の高さまでポールを建てて風の強さを測っていたのが・・・



レーザを使って、地上から風の強さを測れるように！！

風力発電も非常用電源に使えます！！

風力は24時間発電できる能力を持っているため、太陽光と組み合わせて、より安定した発電を確保できます！！



ハイブリッド自家発電システム II

お使いいただける機器例

- 照明 (40W × 4本)・・・約5時間
- ノートパソコン (50W)・・・約16時間
- 扇風機 (60W × 2台)・・・約6時間
- 液晶テレビ (80W: 32型相当)・・・約10時間
- その他、携帯電話の充電、ラジオ等、最大消費電力600Wの製品まで使用可能です。

今年度入っての風力発電の動き

【日経新聞】発電所完成→ファンドに売却 風力大手が事業転換

風力発電大手の日本風力開発(東京・港)は、自社では風力発電所を保有せず、開発に専念する事業形態に転換する。

【電気新聞】風力定検、安全管理審査は自主保安力に応じて延伸一経産省2017年度から実施を目指す風力発電の定期検査について、経済産業省は事業者の保安力に応じ、3年ごとに受審する安全管理審査を最大6年間に以内まで延伸できるようにする。(7/1)

【日経新聞】三菱商事、国内で風力発電 秋田に最大級施設

2019年度の稼働を目指し、秋田県に風力発電所を新設する。(5/20)

※地代や賃借料の払い忘れにお気を付け下さい※

「ジェネックス通信」毎月1回発行 「いつでもお問い合わせください。」